

セネガル国 非感染性疾患対策強化プロジェクト ニュースレター第3号

通称：AARU-CI MNT（アーロウチ・エム・エヌ・ティ）

2025年1月発行

第1回 高血圧症・糖尿病およびその合併症の予防と管理に関する国家研修



2024年11月4日から21日にかけて、「第1回高血圧症・糖尿病およびその合併症の予防と管理に関する国家研修」を開催しました。本研修は、ダカル大学に所属する健康開発研究所(ISED)の協力のもと、ティエス州ンブール市にあるISED研修施設で実施され、ティエス、ジュールベル、バンベイ、ンバケ、トゥーバ、ムブール、ポドール、サン・ルイの8保健区から医師15人が参加しました。心臓病学、糖尿病学、内分泌学、神経学、血管外科の専門医が研修講師を務め、高血圧症および糖尿病の診断、医療サービスの提供、腎障害や神経障害などの合併症、急性冠症候群、除細動、糖尿病足、虚血といったテーマで講義・実習を行いました。また、本研修の様子は、テレビ、ラジオ、新聞など多くのメディアで取り上げられ、大きな関心を集めました。



参加者インタビュー

研修で特に印象に残ったことは何ですか？

保健省がこのような先駆的な研修プログラムを開発してくださったことに感謝します。若手の救急医として、この研修は、現場で日常的に直面する患者の病状やその管理方法に焦点を当てており、非常に実践的だと感じました。



特に、小児糖尿病について、最新の治療法を学ぶ機会を得られたことは、大変有意義でした。

Dr ムスタファ ファル
ンダマトウ病院 救急医

今後の研修プログラムをさらに充実させるために、提案はありますか？

本研修プログラムを、セネガル全国に拡大することを提案します。研修プログラムについては、高血圧症の管理や心電図読影のような、現場で特に求められるテーマにより多くの時間を割くことが重要だと考えます。また、マネキン、超音波診断装置、心電図、除細動器などの医療機材を活用した実践的な演習を取り入れることで、参加者の理解をより一層深めることができるでしょう。



加えて、専門医がモニタリングを行い、研修で習得したスキルや知見が現場でどのように活用されているか評価することも重要です。

Dr アイサトゥ ジョップ
ティエス保健センター・副センター長

この研修を受けたことで、地方における合併症のケアにどのような変化が生まれましたか？

研修を実施した保健省の非感染性疾患対策課（NCDs課）とJICAに感謝します。私たち参加者は、専門医から学んだ知見を勤務先の保健センターで同僚と共有しており、研修の成果は早速現れています。最新の治療プロトコルでは、病気ではなく患者中心のアプローチが採用されており、私たちに新たな視点を提供してくれました。



さらに、研修を通じて、合併症予防の重要性を再認識することができました。

Dr マガッテ ディオーネ
ンディンディ二次保健センター・センター長

11月28日・29日に「調査・研究：NCDs対策のための政治的意思決定の基盤」をテーマに、第3回セネガルNCDs予防とマネジメント・シンポジウムが開催されました。アーロウチMNTプロジェクトでは、2023年11月から2024年10月にかけて実施したベースライン調査の結果を発表しました。



ベースライン報告書
QR code

発表を聞いたシンポジウム参加者からは、NCDsデータの収集と管理が、患者のモニタリングや適切な治療において非常に重要であることが共有されました。さらに、患者やセネガルの人々が、NCDsやリスクファクターについて十分な知識をもっていないという課題が浮き彫りになり、スクリーニングイベントが実施されても、その後の保健医療施設での受診に繋がらない現状が報告されました



健診スクリーニング・イベント DISTRICT CHEZ VOUS

バトル保健ポストとバンベイ・セレル保健ポストにて、バンベイ保健区では初めてとなる「District chez vous*」が開催されました。このイベントは保健センターの医療従事者が、保健ポストのあるコミュニティへ出向き、住民を対象にスクリーニングを行うものです。イベントを通じて、住民が保健医療施設をより身近に感じられるようにすることもイベントの目的としています。今回のイベントでは高血圧症と糖尿病の検査や医師による診察が行われ、合計339人（うち女性292人、男性47人）の住民がスクリーニングを受けました。この参加者数からも、住民の予防や健康への関心の高さがうかがえます。「District chez vous」が高血圧症や糖尿病の予防、早期発見、早期治療に繋がるためには、コミュニティのネットワークを活用し、検診を受けた住民のフォローアップが重要です。



ローアップが重要で

*「District chez vous」は、「あなたの町の保健センター」というイメージで、地域に根差した医療サービスを提供する取り組みを指します。

NCDs の治療的患者教育（ETP）



2024年12月10日から13日まで、ティエス州で「NCDs の治療的患者教育

(Education Thérapeutique du Patient: ETP)と心理社会的支援に関する実践的ガイドラインの作成に関するワークショップ」を開催しました。ワークショップには、セネガルの高血圧症と糖尿病対策を中心的に担う専門医、大学教授、鎌状赤血球貧血および血友病協会、開発パートナーなど、重要な関係者が参加しました。これまで、治療的患者教育は各保健医療施設で個別に実施されており、指針となるガイドラインが存在しませんでした。今回のワークショップでは、参加者が実践してきた治療的患者教育の知見や使用しているツールを共有し、ディスカッションを重ねることで、より効果的な実践方法や新たな提案を取り入れ、ツールの改定を行いました。4日間のワークショップを通じて、セネガル版治療的患者教育ガイドラインのドラフト版が作成され、参加者からは、NCDsの予防、治療の質向上に貢献する治療的患者教育への取り組みが高く評価されました。

今後の活動予定

- 糖尿病と高血圧の予防と管理及びNCDsに関するデータ管理研修の実施後のスーパービジョン（ティエス保健区、バンベイ保健区、ンバケ保健区）
- コミュニティ人材向けの非感染性疾患の予防と健診スクリーニングに関する研修（ンバケ保健区）
- 検査官を対象としたNCDsリスクファクター研修
- 治療的患者教育と高血圧・糖尿病などの患者の心理社会的支援に関する文書の最終化・技術承認ワークショップ
- 地元の食材を使ったクッキングデモを通じた健康的な食生活促進フォーラム（ンバケ保健区）
- プロジェクト第1期のレビューと第2期の計画策定会議
- 統合同調整委員会 (Comité de Pilotage: COPIL)